

# 耳鼻咽喉科領域における手術部位感染防止のための 予防的抗菌薬投与方法

清 一 哲 坂 野 立 幸 呉 孟 達  
中 山 明 峰 稲 福 繁

愛知医科大学 耳鼻咽喉科

## 〈序文〉

予防的抗菌薬投与方法について耳鼻咽喉科領域では未だEBMに基づいた考察がなされていない，今回CDC（アメリカ疾病制御予防センター）のガイドラインに基づきSSI（術後創部感染）発生率についてサーベイランスした．

## 〈対象，方法〉

CDCの手術創分類class I からclass IIIまでの患者345名．執刀前より予防的抗菌薬として経静脈投与，術後は投与日数，創部状態，全身状態をSSIサーベイランスシートに記入し，基本的に術後第2病日には抗菌薬投与終了を目標とした．

## 〈結果〉

抗菌薬を術後2日以内で終了した群のSSI発生率は0.4%であったのに対して腫々の要因で3日以上投与された群は12.6%であった，抗菌薬の種類において発生率の有意差は認めなかった．

## 〈考察〉

今回の結果によれば予防的抗菌薬使用量は，長期投与すればSSI発生を抑えることができるわけではないことが考えられる．